

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業みらい		
○保護者評価実施期間	2026年1月27日		～ 2026年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2026年2月13日		～ 2026年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	イベントや様々な活動を通して、子ども達が楽しく通える環境を作っている。	・年に3回の保護者参加のイベントや、調理、外出など子ども達に経験を積んでもらえるような活動内容を実施している。	・子ども達からもやりたい事を聞いたり、相談して決めることで活動時間内という制限はあるが子ども達がやりたいと思える活動が実施できるのではないかと。
2	保護者と職員間での情報の共有が図れている。	日々の支援後の引継ぎを保護者の方と直接お話しをすることで、支援以外のお話しもスムーズにできている。安心や信頼してもらえるように、今後も口頭での引継ぎは続けていく。	ご家庭でのお困りごとや育児の大変さなど、短い時間での引継ぎの中ではなかなかお話しが十分にできない時もある為、相談しやすい環境を作っていきたい。
3	十分な活動場所の確保ができています。	ベランダや体育館があり、活動に応じて場所を変える子ども達が余裕を持って活動できる場の提供をしている。	古くなっている場所もある為、修繕が必要である。優先順位を決めて、少しずつでも修繕できるようにしたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアルの周知ができていない	災害の起きた時や感染症のマニュアルなど、目に見える所には掲示されていない。	広報などで、避難訓練の様子の掲載や感染症対策についても取り組みを載せていくと周知ができるかもしれない。
2	利用児の数が増えていかない	昨年からリーフレットを作成し、市役所などに置いてもらっている。今はSNSで情報を得る時代でもあるため、活用できていない。	HPの更新をしていく。リーフレットを置く場所を増やしていく。
3	建物の修繕が必要な場所がある	トイレや活動室の扉や便座が古く、使い勝手が悪くなっている。子ども達にとっても適した環境になっていない。	優先順位を決めて、随時修繕していく

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	19	1			<ul style="list-style-type: none"> 受け入れの際などに、毎回体調の確認をしてくれている。 話してくださり、共通理解ができていると感じる。 健康面で気になることがある様子をみて伝えてくれたり、日々の成長、小さな変化を毎回伝えてくれる。 日々子どもの状況が変化するので、上手く連絡を取り合えていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援後の引継ぎでは、1日の様子について保護者の方に直接お伝えしており、できるようになった事以外にも、どのように取り組むと子ども達自身の力でできたのかという具体的な取り組みも同時にお伝えできるようにしております。また、みらいの様子だけでなく、おg家庭での様子や困りごとについても引継ぎの際にお伺いしております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1			<ul style="list-style-type: none"> 悩んでいたことを打ち明けた際、すぐに面談を実施していただき、話を聞いた上でアドバイスをとても心強かった。 活動を基にアドバイスをくださる。 定期的に相談があり、いつも相談しやすい雰囲気。 	<ul style="list-style-type: none"> 半年の1回のモニタリング面談と併せて、子ども達の日頃の様子やご家庭での様子について必要に応じて面談の機会を設けております。些細な事でも、いつでも相談していただければと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	2			<ul style="list-style-type: none"> 共感的に支援してくださり、親としてもありがたい。 どの職員さんとも共感的でとても頼りになる。 	<ul style="list-style-type: none"> みらいでできた事、成長している部分をお保護者に伝えていくと同時にご家庭での様子についても大変さや嬉しさという部分についても一緒に共有しながら、今後子ども達の成長を見守れる施設である。 保護者会の実施は今年度行っておりませんが、年に3回の保護者参加のイベントを通して、保護者同士の交流の場を作りました。来年度も保護者への支援という視点でサポートを続けていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	4	3	3	<ul style="list-style-type: none"> イベントで他の保護者の方と交流する機会がありがたき、とても心強かった。 イベント等はあった記憶がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会の実施は今年度行っておりませんが、年に3回の保護者参加のイベントを通して、保護者同士の交流の場を作りました。来年度も保護者への支援という視点でサポートを続けていきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2		4	<ul style="list-style-type: none"> 日々、職員の方と話す機会があり、いつでも相談しやすい。相談によっては参考になる資料をすぐ作成して頂いた。 相談させていただいた時、とても丁寧に対応してくれました。 	<ul style="list-style-type: none"> いつでも相談を受け付けできるよう体制を整えています。また、ご家庭のニーズを聞き取り、相談内容に沿ったサービスの情報提供を適宜行っております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19				<ul style="list-style-type: none"> 連絡ノート、送迎時等で健康面、成長や気になる様子等細やかな所まで共有できていると思う。 積極的に声をかけてくださるので、ありがたい。 毎回丁寧な引継ぎとノートでのやり取りをしてくださっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の支援の様子については、連絡ノートの活動や保護者と直接引継ぎを行い、情報の伝達を行っております。また、必要に応じては面談する機会を設けております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1		2	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に写真つきのお便りで活動の様子や行事予定等の発信がある。 通信がとても詳しく、記載されており、見るのが楽しみで、参考になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 月に1回広報の発行をしております。子ども達の活動の様子を写真付きで載せると同時に施設からのお知らせをしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18			1	<ul style="list-style-type: none"> 書類上でも確認がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用契約の際に、個人情報の同意書について説明をしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1		7	<ul style="list-style-type: none"> 非常時の対応の説明や書類はある。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用契約の際に、説明をさせていただいておりますが、十分に周知できていないマニュアルもあるかと思しますので、今後の課題とさせていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	2		11	<ul style="list-style-type: none"> 非常時の対応の説明や書類はある。 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の避難訓練の実施をしております。保護者の方にも広報で事前に予定をお伝えしております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 小さな怪我がもしあった場合も教えてくれたり、バス外出等いつもと違う活動時も事前に相談してくれたり、十分安全を気にかけてくれている。 活動中に誰でも出入りできる状況で、活動室が奥まった所にあるため、セキュリティ面が心配。 	<ul style="list-style-type: none"> 貴重なご意見ありがとうございます。建物のセキュリティについては、現在検討しております。建物自体のシステムの変更や工事などが必要になる場合もございます。職員にも意識づけて子ども達の安全を守るよう徹底していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16			3	<ul style="list-style-type: none"> 小さな怪我でも丁寧に説明してくれる。 事故等は起きた事はないですが、説明はしてもらえと思う。 引継ぎの際に状況なども詳しく伝えてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体調不良や活動中の怪我等については、保護者の方へ直接又はお電話にて状況の報告をしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18		1		<ul style="list-style-type: none"> 楽しそうに友達と走ったり、先生の膝の上で安心したり、要求があると仕度で伝えると聞いています。みらいに行く時も笑顔で楽しみにしている。 不安げ口で通っているようです。 毎回とても安心した様で活動に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達がみらいに楽しく通えているというご意見を多くいただいております。保護者の皆様にも日頃からみらいの運営についてご協力いただき、大変感謝しております。どの子ども達、保護者の皆様にも安心して通える施設になれるよう今後も努力を続けて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18		1		<ul style="list-style-type: none"> 家ではみらいへ行くことを母が伝えると、靴下を履き玄関まで走り、施設に到着して先生の顔を見ると笑顔で自ら進んで中へ入る。 とても楽しみにしている。休みの日でもみらいへ行きたがっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見ありがとうございます。子ども達が楽しんで通えるように、様々な活動を通して経験を積んでいけるように今後も活動の充実を図って参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				<ul style="list-style-type: none"> 子の1つ1つを丁寧にみてくれて、色々なことを共有し考えて下さるので、親としても強く前向きな気持ちになれる。子も楽しみながら成長している。 数年間通わせていただき、親子共々満足している。 先生方のご支援にとても感謝しています。いつも楽しく通っています。 先生方はみなさん誠実で子どもにも保護者にも真っ直ぐに向き合ってください。大変信頼しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見ありがとうございます。どの子もいつも笑顔で元気に登園してくれる姿がとても嬉しく思います。これも保護者の方々のご協力があったこそだと思います。皆様から、信頼してもらえらる施設運営が今後も継続できるように、職員の専門スキルの向上、活動の充実を図るように職員一同精進して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業みらい					公表日	2026年 3月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・広く部屋を覚えて伸び伸び活動が出来ている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・パーティション等で空間を区切って、部屋を分ける事で何をやる部屋、時間なのかがわかりやすくなっている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			・施設の設備の修繕が必要。 ・男子トイレの立ち便器の修理。冬は便座を温める機能があると良い。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・カーテンでの仕切りがあり、いざという時に使えると思う。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・毎回振り返りがあるので、子どもの状態が分かりやすい。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・定期的に話し合いがある。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・毎日振り返りを丁寧に行い、意見交換の場としている。 ・定期的に話し合いがある。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・研修や園への見学等、案内も広くされており、参加の為に勤務や体制調整も行っている。 ・定期的に行っていると感じている。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・計画を一覧のリストにしており、非常勤の方含め全員に周知されている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>					

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		・様々な目的や季節に合った活動など組み合わせている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・活動中の職員それぞれの役割やおさえておくポイント（危険回避）について打ち合わせをしている。 ・細かいことでも話し合いがある。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		・1人ずつ利用児の様子について、丁寧に振り返りし、支援の方向性についても打ち合わせる事もある。 ・意見交換の場がある。 ・ノートに記録し共有することで、その日にいない職員も子どもの様子を確認できて良い。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		・併用利用先の園等に見学に行く等し、連携を図っている。今後はまだ連携できていない園とも情報共有を積極的に行っていきたい。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		・就学支援シートや必要に応じて電話等で連絡を取り、情報を共有している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		・センター主催の児発連絡会や見学会に参加したり、巡回してもらってアドバイスを受けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。				・近所に園はあるが、交流の場は持っていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			・利用後の引継ぎを丁寧にを行うように心掛けている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		<input type="radio"/>		・ひいらぎからのお知らせを配布するのみになっている。ニーズがあるのか把握から行う必要あり。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者と常に話し合っているからこそ、ご家族が相談に来られる様子をよく見かける。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・保護者と常に話し合っているからこそ、ご家族が相談に来られる様子をよく見かける。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者と常に話し合っているからこそ、ご家族が相談に来られる様子をよく見かける。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・父母会や保護者会はない。行事の際に、保護者同士の交流の場を今後も設けていきたい。 ・時間の確保が難しいと感じるが、イベントがある為そこでの交流ができています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月、活動の様子を広報にして写真付きで発信している。	・HPにもう少し具体的に発信してもよいかもしれない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・いつも整理されている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・絵や写真カードを希望があれば自宅や園でも使用してもらえよう、情報共有している。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		・見える所に掲示する、契約時や更新の際に資料としてお渡しするなどの検討をする。 ・家族への周知が不十分かもしれない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・該当利用児はいないが、マニュアルとして備わっている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・今年度該当児はいないが、会議の進め方や計画への記載、記録の仕方についてのマニュアルがある。		